

◇キール便り

難波氏の便りの中にある
キール大学の内外風景で、

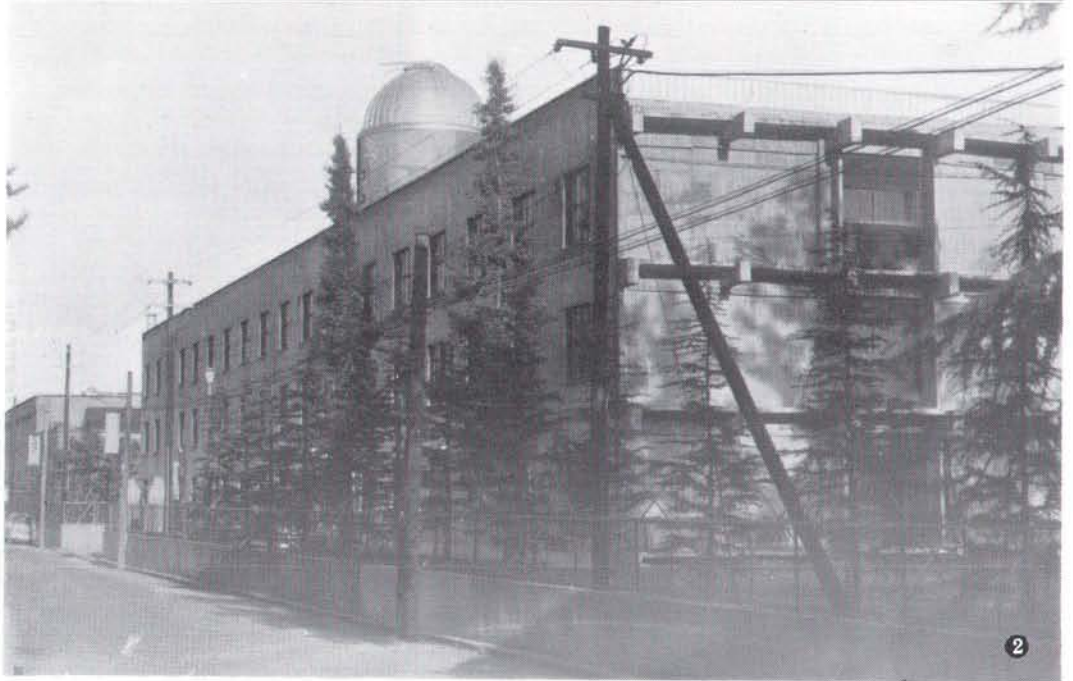
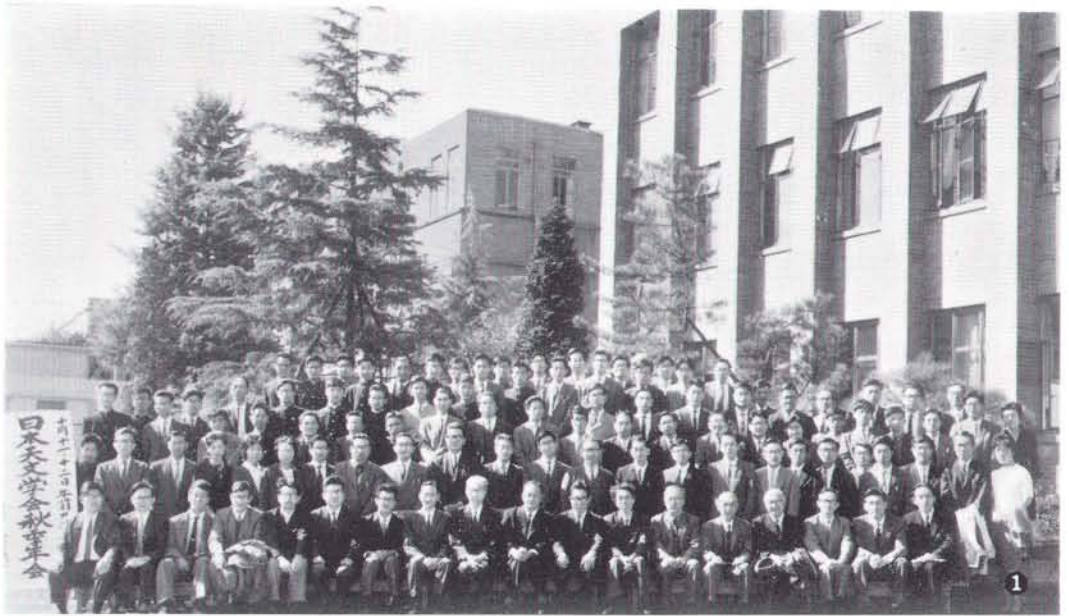
1 はキール「新」大学の正門、天文教室は次の同じような棟の右端の二階にある。

2 はキール「新」大学の一部、左より核物理、応用物理の教室、その後が未完成の化学教室のモダンな建物、後方に電波望遠鏡（写真4）が見える。手前の広場は工事中の駐車場。

3 はウンゼルト教授、太陽物理の講義の終わったところ。

4 は 7.5m のパラボラ、107, 240, 460 および 1420 Mc/s の双極子アンテナがついている。



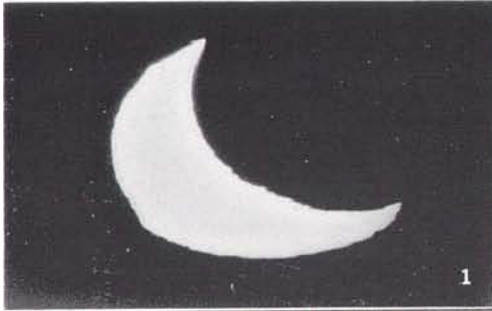


◇仙台での本会秋季年会

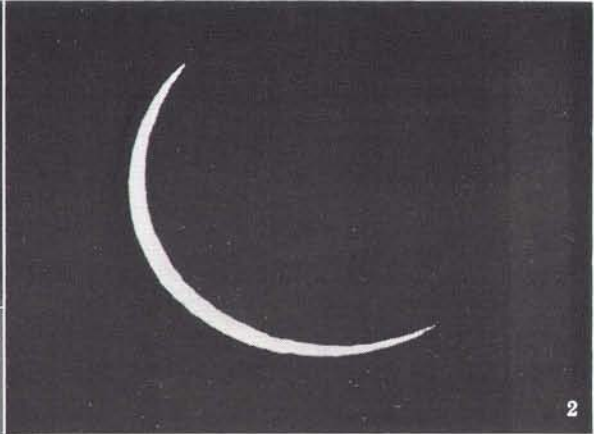
1 は本年 10 月東北大学金属材料研究所で開催された本会秋季年会の記念撮影で、12日同研究所の玄関前にて
2 は金属材料研究所と道路をへだてた向側にある東北大学理学部新館で、天文学教室はこの 3 階にある。

◇会員の日食観測

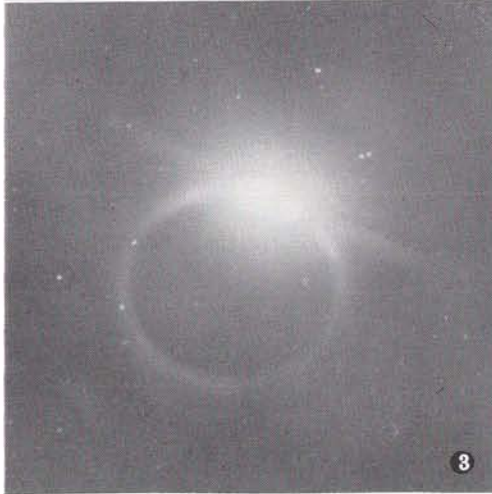
1 は北海道美唄東高校科学部天文班藤倉仁郎氏が羅臼岳の東の羅臼平で 3 時 55 分に撮った部分食 2 は大阪市生野区の天文研究同好会石本理氏が網走市台町で 4 時 12 分 3 秒に撮影した部分食で、この 2 枚は大気屈折による太陽像のゆがみがよくわかる。3 は小樽潮陵高校地学部（代表者真島昭二氏）が網走市郊外天都



1



2

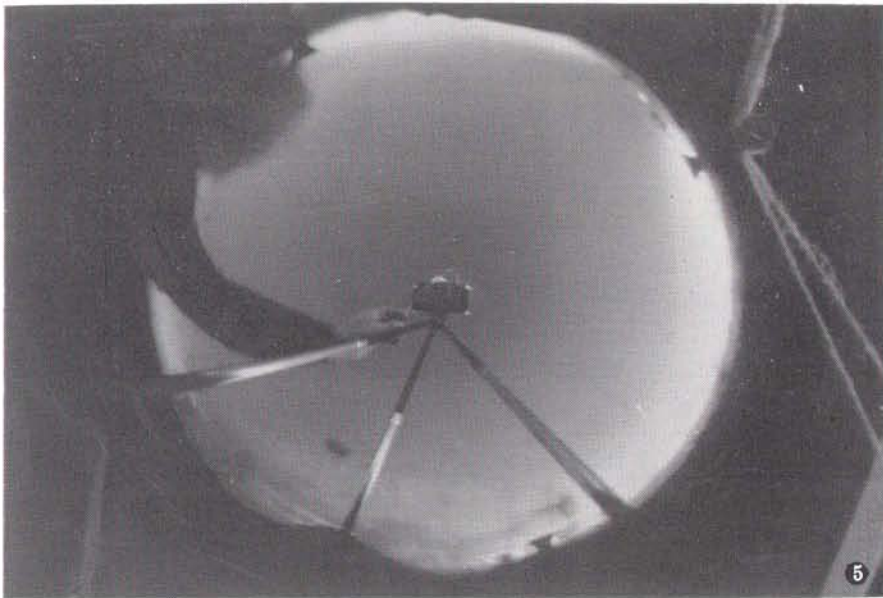


3



4

山で部員 20 名とともに観測した日食のダイヤモンドリング、4 時 14 分 31 秒に SSS フィルムで 0.5 秒の露出。4 は知床岬での諏訪天文同好会の観測風景。5 は広島大学教養部の藤井淳浩氏が羅臼岳の三つ峰で、自作の球面鏡にアルミ蒸着したものと、アサヒペンタックスを組合せた全天カメラで写した皆既中の空の明るさ。太陽は右上にある。



5